

1 学校教育目標

国の教育振興基本計画、学習指導要領、足立区教育大綱、第2期足立区教育振興ビジョンの基本方針に基づき、学習者（生徒）中心の学びを推進するとともに個人、社会のウェルビーイングの向上を目指す。

- ・進んで学ぶ生徒
- ・思いやりのある生徒
- ・根気強くやりぬく生徒

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> ・自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力(人間力)を育成する学校 ・学ぶ力、確かな学力を身に付けさせ、心豊かな生徒を育てる学校
○児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで学ぶ生徒 自ら学び、ひとから学ぶ。豊かな人間関係を築き、自分の個性や特技を伸ばす ・思いやりのある生徒 互いに支え、協力し、思いや考えを共有する。自分と等しくひとを大切にす ・根気強くやりぬく生徒 努力することの価値を認め、自分を信じて向かい続ける
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を大切にし、自ら学び続ける教師 ・保護者や地域に信頼される教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

学校の現状

- ・学校全体で生徒のよさを認め伸ばす授業を展開した。生徒全員が安全、安心に過ごせる学校づくりを推進した。
- ・多様な子どもに対して自己肯定感が高まるように個別の対応をした。
- ・防災訓練、地域スポーツ大会でのボランティア地域貢献が地域での善行表彰につながった。

前年度の成果と課題

- ・週1回の校内支援委員会や生活指導部会でいじめの未然防止に努めた。今後も体罰のない学校づくりに努める。
- ・生徒の主体的な活動については、生徒会が立案した4つの柱を実施できた。
- ・特別な配慮や外国にルーツをもつ生徒への成功体験を積み重ねられるような授業を展開する。
- ・ICT機器を活用した生徒の主体的な学びの転換が課題である。
- ・生徒の自発的な行動に気づかせる心に響く機会の設定が課題である。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
1	学力向上アクションプラン	○	○	◎	○	○
2	思いやりの心や豊かな心を育む教育	○	○	○	○	○
3	生きる力を育む教育	○	○	○	○	○

5 令和8年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
基礎学力・学ぶ力の向上 ・生徒の主体性や思考力を育成する授業づくりを確立し推進する		<ul style="list-style-type: none"> 目標通過率：55% 正答率：当初 55% 確認テスト（1月）60% 独自に設定する生徒への意識調査を年3回実施し、肯定的評価を年間通して向上させる 				自己評価の際に記入			
B 目標実現に向けた取組み									
新規・継続	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	授業の充実	全学年 全教科	通年	・小中連携研修指導案を年に1回以上作成し、授業研究を実施する。	学習意識調査 (生徒用)	「学習に積極的に取り組んでいる」の肯定的評価 85%	自己評価の際に記入		
2 新規	ICTの 効果的活用	全学年 全教科	通年	・教員全員が小中連携研修において、情報活用能力の育成を目指す。	学習意識調査 (生徒用) 指導状況調査 (教員用)	活動指標 (KPI) 85%			
4 継続	学習コンテスト	全学年 5教科	年5回	・各教科で生徒が自分の力に応じて目標点を定める。	プレテストと 当日テストの 比較	各自が設定した 目標値に到達する 生徒80%			
5 継続	読書の取組	全学年	通年	・図書委員会による朝読書、読書活動の推進	月2冊以上の 読書量	区と全国調査 のSES平均 以上			

重点的な取組事項－2		他者と協力し共生社会を生き抜く「思いやり」と「豊かな心」を育む教育			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重意識の向上 いじめの根絶・自己肯定感の伸長 		<ul style="list-style-type: none"> 生徒の感想文や人権に関するアンケートを実施し90%以上の生徒が人権意識を高めたと回答する。 生徒アンケートにおいて、学校生活の満足度等の肯定的評価を90%以上にする。 	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
人権尊重意識の向上 (いじめの防止と根絶)	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の課題に組織的に対応し、解決の方向性を確認できている。(校内支援委員会、生活指導部会、学校生活アンケート等) 	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活アンケート、いじめアンケート 校内支援委員会、生活指導委員会を週1回実施し、情報を共有 教育相談週間 交流学习 	自己評価の際に記入		
豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> 学校・学年行事、道徳授業等の感想で、多くの生徒が思いやりの心や他者を認める感情が高まったことを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 全教員のローテーションによる道徳の授業を実施 地域行事に多くの生徒が関わり、地域の一員としての自覚を培う。 			
自己肯定感の伸長	<ul style="list-style-type: none"> 「自己肯定感」及び「自己有用感」「自己効用感」の育成を目指した取組と生徒の実感に関するアンケート 	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育活動のあらゆる場面で「自分を知る(自己肯定感)」「やればできる(自己効用感)」「自分は役に立っている(自己有用感)」という感情を伸ばすことを指導目標の一つとする。 			

重点的な取組事項－3		見通しをもって未来を生き抜く「人間力」を育む教育			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
・生徒の主体性を生かした取組の充実		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケートにおいて、主体的な取組に関する問いに対して、肯定的評価を85%以上にする。 ・各取組についても評価する。 	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
主体的に考えて取り組む態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケートでの肯定的評価が全体で90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事ごとに生徒の実行委員会を組織し、運営等に主体的に取り組ませる。 ・生徒主体で生徒会政策4本の柱などを企画・運営させ共有させる。 	自己評価の際に記入		
総合的な学習の時間（立志の時間）の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケートでの肯定的評価が95% ・保護者アンケートで立志に関する項目で肯定的評価が85% 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人研究のポスターセッションで主体的な課題設定・解決、プレゼンテーション能力を育てる。 ・グループ発表を通して、対話的に課題解決をはかり、考えを深めさせる。 ・立志の時間で育てた能力を生かし、主体的に学習する態度を育てる。 			
進路指導、キャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒への振り返りアンケート、主体的取組が85% ・教員向けアンケートを実施し評価する 	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験、上級学校調べ・職業講話等を通し、将来の夢や希望を広げる。 ・食育、保健指導、歯科指導を行い、自らの健康に関する意識を高める。 			

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

自己評価の際に記入します。
経営計画の策定段階では、このページは行数を減らして圧縮したり、ページ自体を削除したりした上で、公表していただいても差し支えありません。

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）